
令和元年度タウンミーティング

平成30年度市民満足度
調査結果について

○調査概要

(1) 調査の趣旨

- ✓ 「市政全般における満足度」並びに「さらに充実してほしい」施策について、市民の皆様がどのように感じているかを捉え、市政全般における市民満足度を把握するとともに、政策・施策別に今後重点を置いていかなければならない事項を整理し、その結果を今後の市政運営に活用する。

(2) 調査期間

- ✓ 平成31年2月19日(火)発送～3月31日(日)締切

(3) 調査対象

- ✓ 牛久市内に在住で18歳以上の市民から無作為に抽出した3,000人

(4) 調査方法

- ✓ 「郵送」または「インターネット」によるアンケート調査

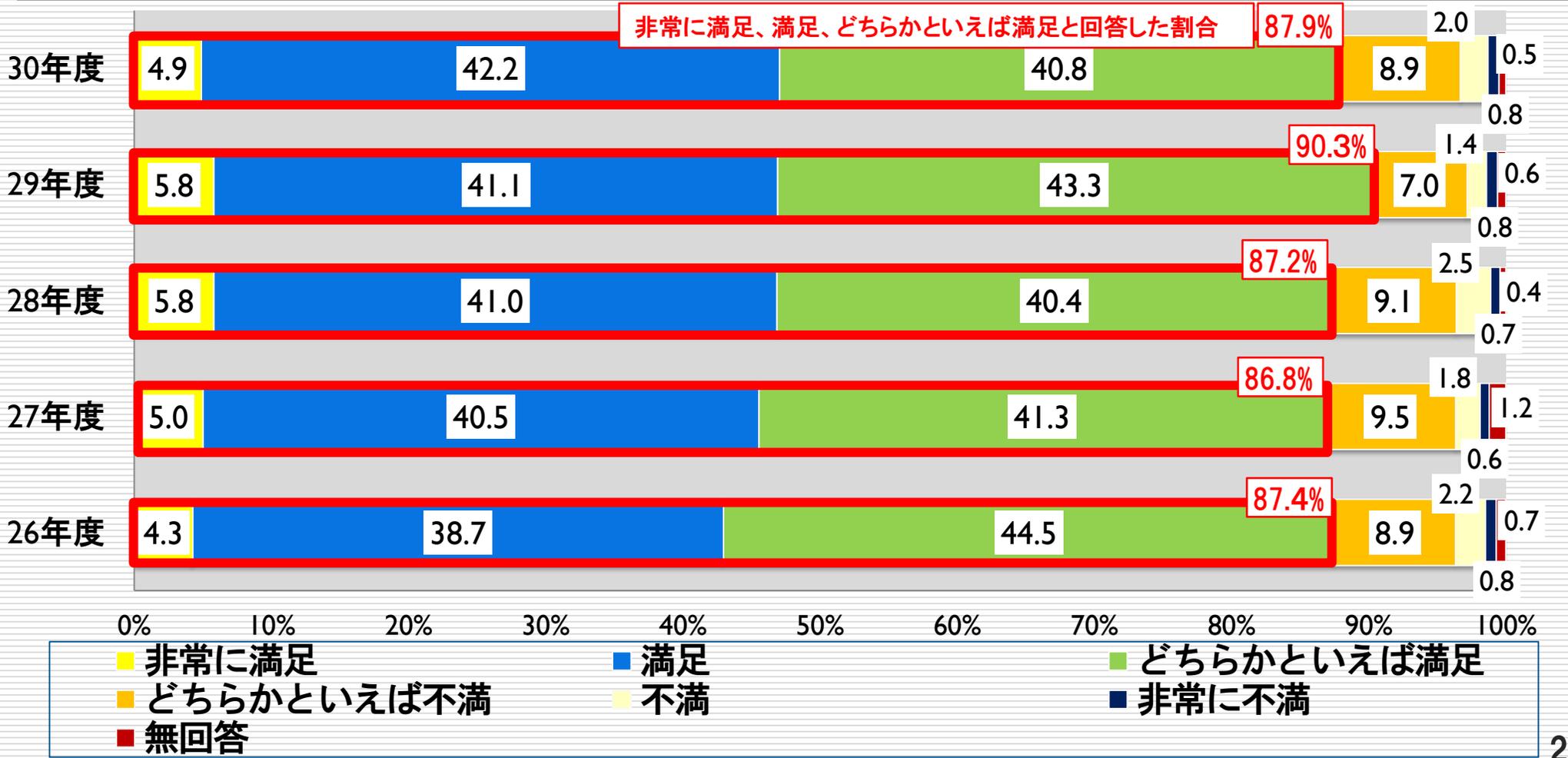
(5) 回答件数

- ✓ 1,162件(回収率38.7%) 郵送：1,043件 インターネット：119件

○市政全般における満足度-牛久市の住み心地

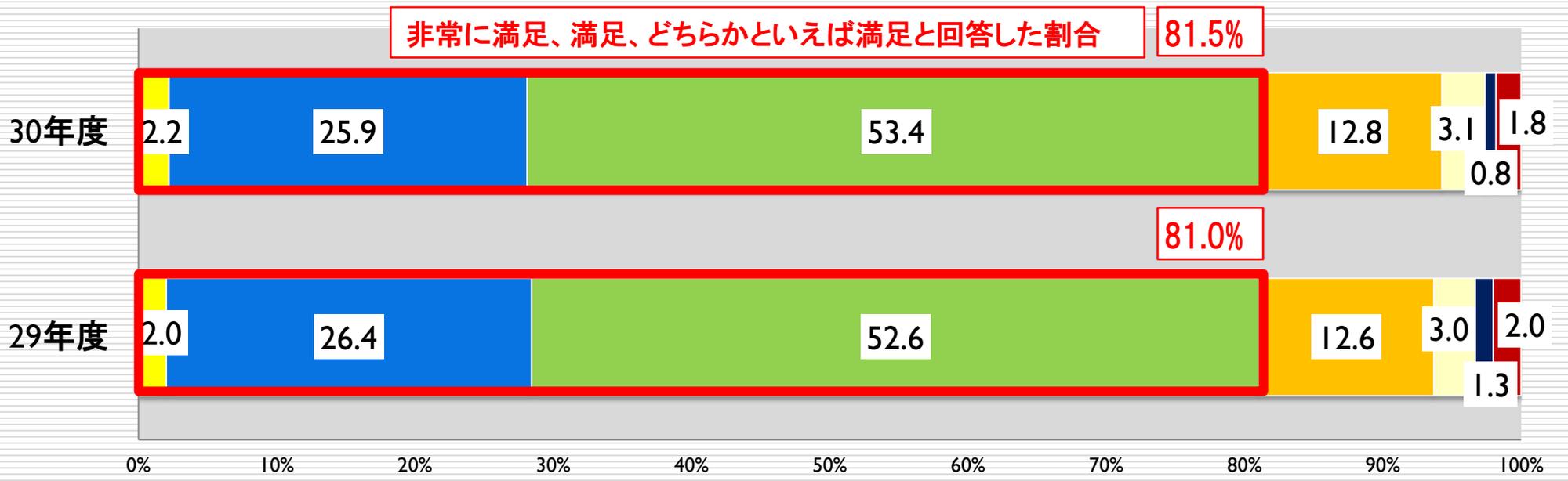
✓ 前年度と比較すると、約2パーセント減少しており9割を割り込む結果となりました。しかし、近年の結果と比較すると、高い水準の結果となりました。

✓ 「非常に満足」、「満足」、「どちらかといえば満足」の割合の合計：87.9%



○市政全般における満足度-牛久市の行政サービス

- ✓ 昨年に引き続き牛久市の行政サービスに対して8割を超える市民の方が満足感を得ている結果となりました。
- ✓ 「非常に満足」、「満足」、「どちらかといえば満足」の割合の合計：81.5%



■ 非常に満足	■ 満足	■ どちらかといえば満足
■ どちらかといえば不満	■ 不満	■ 非常に不満
■ 無回答		

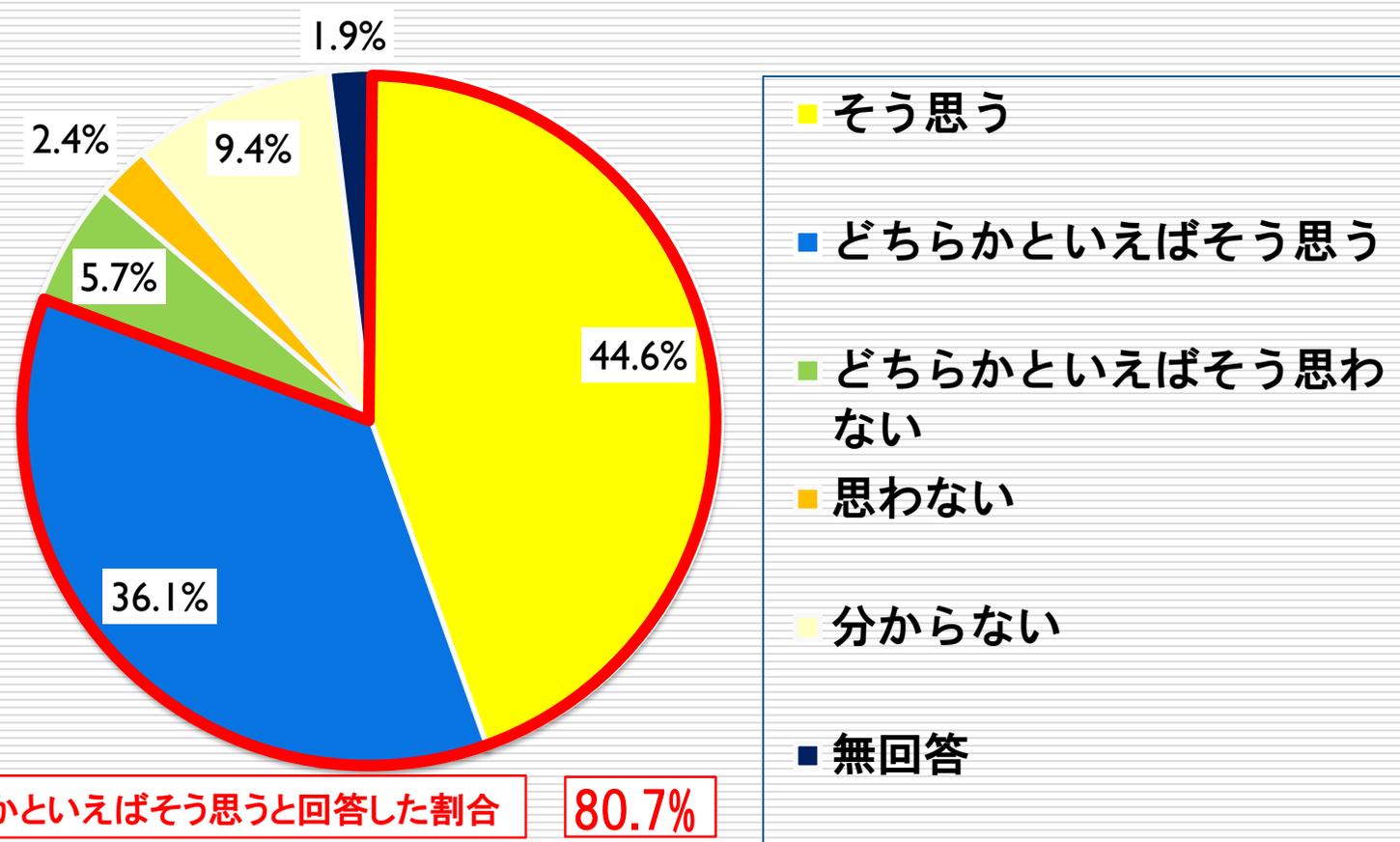
○「もっと充実してほしい」と感じている施策ベスト10 (施策数:147)

- ✓ ベスト3が昨年度と順位が同じ。引き続き充実要望が高い施策となっています。
- ✓ 昨年度ベスト10外だった「地域の観光資源を磨き上げ活用する」、「子どもの居場所づくりを推進する」がランクイン。
シャトーの飲食・物販事業の撤退、学校でのいじめ問題の関心が高いためと考えられます。
- ✓ 5～8位、10位の施策については、多少の前後はあるものの、昨年度も10位以内にランクインしているため、引き続き充実要望が高い施策となっています。

順位	施策	件数
1 (1)	夜間や人通りの少ない地域における安全を確保する	807
2 (2)	牛久駅周辺におけるにぎわいのあるまちづくり	678
3 (3)	交通事故の発生を防ぐ施設整備を推進する	666
4 (15)	地域の観光資源を磨き上げ活用する	625
5 (5)	生活環境を良好に保つための空家対策を推進する	623
6 (4)	緑を守り自然にやさしいまちづくりを推進する	605
7 (8)	安全で快適に利用できる道路環境を整備する	585
8 (7)	だれもが快適に過ごせる「ひとにやさしいまち」をつくる	581
8 (86)	子どもの居場所づくりを推進する	581
10 (9)	市民の足を支える公共交通の利用環境を整備する	574

○牛久市への定住意向

- ✓「今後も牛久市に住み続けたいと思いますか」という問いを新たに設けました。8割を超える市民の方が牛久市に住み続けたいと思っている結果となりました。
- ✓「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合の合計：80.7%



そう思う、どちらかといえばそう思うと回答した割合 **80.7%**